

令和6年度第1回大東清掃センター公害防止対策協議会会議録

- 1 会 議 名 令和6年度第1回大東清掃センター公害防止対策協議会
- 2 開催日時 令和6年7月10日（水）午後1時30分から午後2時45分まで
- 3 開催場所 大東清掃センター2階研修室
- 4 出席者

- (1) 委 員 佐藤隆博会長、藤野裕副会長、佐藤義信委員、佐藤斎博委員、
佐藤美心委員、佐藤悦男委員、菊池学委員、小野寺敬一委員、
千葉幸司委員、佐藤文橋委員、
那須勇組合議員、
千葉昌子大東支所市民福祉課長、
畠山学千厩支所市民福祉課長
- (2) 事務局 佐藤正幸一関地区広域行政組合事務局長、
蜂谷敏志大東清掃センター所長、
藤野満大東清掃センター副所長

5 報 告

- (1) 令和5年度施設の稼働状況について
- (2) 令和5年度各種測定結果について
- (3) 令和5年度施設周辺住民健康診断受診者数について

6 公開、非公開の別 公開

7 傍聴者 なし

8 挨拶

所 長 今年度は委員の改選期となっており、新たに委員2名の推薦を受けた。

なお、委嘱状は机上にて交付とさせていただくのでご了承お願いする。

会 長 本日はお忙しいところご出席いただき感謝申し上げます。新委員2名の方にはご尽力をお願いする。佐藤甲子夫副会長が逝去され、故人には対話集会や協議会で貴重なご意見をいただいた。その意見などを引き継いでいきたいと思っている。事務局側にも同様に引き継いでいただくようお願いする。公害防止協定書第14条に記載されているように、協定を適正に運用するために設置する委員会となっている。その趣旨に基づいて進めていきたいので委員の方々には今後ともご協力をお願いし、挨拶とさせていただく。

事務局長 本日はお忙しいところお集まりいただき心から感謝申し上げます。

また、日頃から当組合の管理運営については、多大なるご理解とご協力を賜り厚く感謝を申し上げます。

当組合が計画している新しい処理施設の建設に係る取組状況について、昨年度は令和3年度から実施していた環境影響評価を準備書にまとめ、住民説明会を開催し、意見をいただいた。また、正式に弥栄字一ノ沢に建設することを表明し、用地の取得を行った。今年度は、施設の建設、運営を行う事業者の選定及び敷地造成工事を行うこととしている。新しい最終処分場については、昨年度から引き続き生活環境影響調査の実施と、新たに施設の実施設計を行うこととしている。

また今後、びん、缶、ペットボトルなどの資源ごみを指定ごみ袋を使用せず、コンテナ回収することによりプラスチックごみの減量化を図るための実証事業を行い、効果や課題を検証することとしている。

本日の公害防止対策協議会は、定例報告である令和5年度の施設の稼働状況、各種測定結果及び健康診断の受診状況などについて報告する。担当から説明するので率直なご意見をいただきたい。

今後も維持管理には万全を期してまいりますので、引き続き、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

9 【報告事務の説明】

3番の報告について、(1)から(3)まで一括で報告させていただく。

報告(1) 令和5年度施設の稼働状況について

報告(2) 令和5年度各種測定結果について

報告(3) 令和5年度施設周辺住民健康診断受診者数について

会 長 (1)から(3)について、事務局からの報告について、質問や意見等はないか。

委 員 昨年度の対話集会でも聞いたが確認のため伺う。2炉運転と1炉運転の稼働日があると思うが、ごみが多い時に2炉運転を行うのか伺う。2ページの焼却残渣の不燃物の量が前年度より増えたのはなぜか伺う。3ページの搬入量のところでイベント回収などの数量は含まれていないとのことだが、その分についてどの程度の量があるのか把握しているのであれば伺う。5ページの粗大ごみの話で、空き家の片付けによる搬入量が増えているとのことだがいつ頃から増えてきたのか伺う。8ページのダイオキシン類の測定結果で令和4年度から一気に下がったように見えるが何か新しい対策など設けたか

ら下がったのか伺う。9 ページの排ガス測定で一酸化炭素の数値がなぜ前年度より増えたのか伺う。

事務局 1 炉運転と 2 炉運転については、可燃ごみは減少傾向にあり、1 炉での運転が多くなっている。環境測定を実施する測定期間と整備工事による施設停止期間などによりごみが多くなったときに 2 炉運転としている。2 ページの不燃残渣の不燃物量が増えた要因としては、粗大ごみの搬入が増えているとお話ししたが、粗大ごみを破碎処理し、可燃物と不燃物に機械選別する際に回収しきれなかった不燃物が可燃ごみに混じり込み焼却されることで不燃物の量が多くなっていると見ている。3 ページの一関市が行っているイベント回収などの量については把握していない。5 ページのいつ頃から空き家などの片付けによるごみが増えてきたかについては、昨年新型コロナウイルス感染症が第 5 類に移行した 5 月頃から、空き家になった実家の片付けのため、他県から帰省し、片付けごみを持ち込むケースが増えている。8 ページのダイオキシン類の測定結果の数値については、検査を行う業者により測定できる設定下限値がことなることから小数点以下の数値は異なる。測定結果は、公害防止協定基準値よりかなり低い数値の中での変動であることから、問題はないものと捉えている。9 ページの排ガス測定で、一酸化炭素の数値について、燃やすごみは常に同じものではないことから測定時の状態により数値は変動する。令和 4 年度の測定時より令和 5 年度の測定時の焼却状態が違ふことにより測定数値が変動したものである。こちらも公害防止協定基準値以下の数値変動であることから問題はないものと捉えている。

委員 3 ページの排出量で一関清掃センターと大東清掃センターの一人一日当たりの排出量に差があるのはなぜか。

事務局 一関地域と旧東磐井地域で排出量が違うのは、ごみに対する意識の違いも影響していると考えられる。旧東磐井地域では排出者の名前を記載して出すなどごみに対する分別などの意識が高いことが要因ではないかと見ている。

委員 一関地域でも名前を書くなど減量化に向けてもっと PR していくべきではないか。

事務局 指定ごみ袋への名前の記載については、平成 30 年に指定ごみ袋を統一した際に、組合としては無記名でも収集することと決めたが、同年に開催された大東清掃センター管内公衆衛生組合長懇親会の中で指定ごみ袋の記名方法について、今まで通り無記名の物は収集しないでほしいと要請されたことから無記名の物は現在も収集していない。ごみの減量化についての PR など

は構成市町と連携して進めていくことが必要であると捉えている。

所 長 ごみ袋への名前の記載などについては、新しい施設に合わせて検討していくこととしている。

委 員 ごみの処理コストに係る部分なので進めていくべきだと思う。

事務局 承知した。

委 員 周辺住民健康診断を受診しているが、ここ数年、血圧測定と採血を担当する方の人数が少なく待ち時間が掛かっている。健康診断の料金などを下げたりして担当者が少なくなっているのか。

事務局 健康診断の料金は下げたりしていない。予防医学協会に委託しているが、協会の方もかなり予定が詰まっている状況と伺っている。担当者のやりくりの関係だと思われる。

会 長 そのほかに何かあるか。

委 員 なし。

会 長 報告については以上とする。

10 その他

会 長 4 番のその他について事務局からお願いします。

事務局 施設周辺空間線量率の経過について説明。

事務局 ダイオキシン類測定の土壌採取場所及び大気測定場所の変更について協議をお願いします。

委 員 異議なし。

事務局 今年度より変更して実施することとする。

11 役員選出（会長）

町下自治会から、藤野裕委員に会長をお願いします。

12 役員選出（副会長）

長者自治会から、佐藤隆博委員に副会長をお願いします。

羽根折沢自治会から、佐藤義信委員に副会長をお願いします。

会 長 ほかに何かあるか。

委 員 なし。

13 閉 会

所 長 それでは、本日の公害防止対策協議会を閉じさせていただきます。

14 担 当 課 大東清掃センター